



令和3年度「千代田学」に関する区内
大学等の事業提案制度 共同事業

自然災害発生時に おける大学を拠点 とした帰宅困難者 支援に関する研究

(1) 学生版KUG (帰宅困難
者支援施設運営ゲーム) の開発

報告書

千代田区内近接大
学の高等教育連携
強化コンソーシア
ム (千代田区キャ
ンパスコンソ)



千代田区キャンパスコンソ
Chiyoda Campus Consortium

凡例

- ・本書は、令和3年度「千代田学」に関する区内大学等の事業提案制度 共同事業「自然災害発生時における大学を拠点とした帰宅困難者支援に関する研究—（1）学生版 KUG（帰宅困難者支援施設運営ゲーム）の開発」の報告書である。
- ・本書は、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ／東京家政学院大学・大妻女子大学短期大学部・共立女子大学・法政大学）共同で作成した。
- ・本書の各章・各節の担当は次のとおりである。
 - 第1章：酒井治子（東京家政学院大学）
 - 第2章 第1節：近藤 壮（共立女子大学）
 - 第2節：下坂智恵（大妻女子大学短期大学部）
 - 第3節：酒井治子（東京家政学院大学）
 - 第3章 第1・2節：伊藤マモル（法政大学）
 - 第3節：酒井治子（東京家政学院大学）
- ・本書各章・各節の執筆者は、文末に記した。また第2章以降の各論については各節の冒頭にも記した。
- ・本書の編集は酒井治子（東京家政学院大学）が統括し、実務を近藤 壮（共立女子大学）が行った。

はじめに

近年、地震や台風等の自然災害が発生しており、首都圏においても直下型地震やゲリラ豪雨などの予測困難な大規模自然災害にむけた対策が行われてきている。千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムの5大学・2短期大学を含む大学では、千代田区と『大規模災害時における協力体制に関する基本協定』を締結し、大学が対応可能な範囲で「区民や一般の帰宅困難者の受け入れ」、及び「情報・食糧・飲料水などの提供」などの使命を担うことになっている。

そこで、本事業では、大学の施設運営計画や災害対応体制の再構築に関する課題を明確化し、災害復興や防災対策に役立てるために、千代田区における過去の災害の記録や記憶、また、防災に必要な情報・用品等をアーカイブ化することを目的としたい。さらに、千代田区における災害対策・危機管理政策経営に資する大学版の帰宅困難者支援施設運営ゲームの開発のための基礎資料を得ることを目的としたい。



目次

はじめに	-
第1章 研究事業の概要	
第1節 千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムの設置と趣旨	3
第2節 千代田区との『大規模災害時における協力体制に関する基本協定』	4
第3節 本研究事業の目的と期待される効果	5
第2章 千代田区における過去の自然災害の記録、防災に必要な情報・備蓄品等のアーカイブ化	
第1節 千代田区における過去の自然災害に関する記憶や教訓の集積・分析	
（1）千代田区における安政大地震と関東大震災	13
（2）安政大地震における千代田区と刷り物	22
第2節 災害時に役立つ簡単クッキング方法の検討	26
第3節 学生・教職員を対象にした大学ホームページによる防災情報の分析	40
第3章 学生版 帰宅困難者支援施設運営ゲーム（学生版KUG）の開発に向けた基礎的検討	
第1節 学生及び職員によるKUG（モデル校：法政大学）の学習体験	53
第2節 一時帰宅困難者滞在施設における体調管理システムの検討	
副題：模擬的な非難施設宿泊体験中の大学生における生理的指標と心理的指標の関係	68
第3節 千代田区に通学する大学生の防災、および、帰宅困難者支援に対する意識の実態	75
まとめと今後の展望	112
謝辞	114
【付録】活動紹介動画（ちよだコミュニティラボライブ2022）	115